

# 小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

26  
2014年1月17日発行

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



## Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを実践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日1月17日(金)のプログラム

◎クラブフォーラム  
「下期活動について」

●来週1月24日(金)のプログラム

◎小樽市民国際交流会議実行委員会

●再来週1月31日(金)のプログラム

◎スピーカー  
財務局小樽出張所 所長 岡田 一則氏

### ●第25回例会報告 1月10日(金) 「会長年頭挨拶」・「年男卓話」

■国歌斉唱 ■「君が代」

■ロータリーソング ■「それでこそロータリー」

■ゲスト・ビジターの紹介 ■

イ・アルム さん (米山奨学生)

■会長年頭挨拶 ■ 吹越会長

皆様 改めまして新年明けましてお目出度と  
うございます。今年一年充実した年であるこ  
とを念願してやみません。昨年は皆様のご協  
力のもと無事上半期を全うすることが出来ま  
して誠に有難うございました。またこれから  
の下半期更なるお力添えをお願い申し上げま  
す。



昨年また異常と云うか3年前の東日本  
大震災のような想定外の事象が多々起き戸  
惑うことがありすぎました。自然の力の猛威に震え、人間の無力を  
またまた痛感しました。人間はもっと自然に対し畏怖心を持ち謙虚  
でなければと思う数年であります。

さて下半期、今月より新たな気持ちでフォーラム、クラブアッ  
センブリーと始まり 各委員会積み残し新たな計画へ等々実施よろしく  
お願い致します。2月に入りまして 当クラブの新たな目玉行事であ  
ります小樽市民国際交流会議が22日(土) 3クラブ合同例会に合わせ  
て開催されます。これは奉仕プロジェクトチーム即ち職業奉仕・社  
会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団 5大委員会プラス  
副会長による素晴らしい結晶であります。全員参加で成功させま  
しょう。3月に入りますと 第6グループのIMが舩井ガバナー補佐  
のもと実施と決定しており多数のご参加をお願い致します。4月以  
降は例年通りの運営となりますが、3月末には次年度の各委員会も  
概ね決定しておりますが気を抜かず奉仕の理念・理想を追求し  
て参りましょう。

一年は十二支で、7番目 ラッキー7の年でありますー  
馬に因んで一言

千軍万馬を引き連れ課題を一つずつ解決実施し前進して参りたい

■幹事報告 ■ 山村幹事

- ・会員の皆さんお元気で新年を迎えられたことをお慶び申し上げます 本日、下期の第1回目の例会となります あと半年間色々とお世話になると存じますがご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。
- ・本日 例会終了後 3階別室にて「理事・役員会」を開催いたします。

■委員会・同好会報告 ■

◎親睦委員会 広瀬姉妹交流担当副委員長

「酒田RCとの交流について」

見延会員より、アドバイスがあり、酒田との交流について、昨年  
11月末に当クラブからアクションを仕掛けてみました。酒田RC  
のホームページの中にある「お問い合わせ」を利用して、当クラブ  
が2月22日に予定しております「小樽市民国際交流会議」への  
参加を要請しました。昨日夕方、酒田RCの姉妹クラブ委員長・浅  
井多一会員よりお電話がありました。理事会にかけましたが、ガ  
バナー補佐のイベントと重なっているの、今回は無理との事で

した。尚、彼がおっしゃるには、酒田が当クラブを訪問する順番  
であることは、十分に認識されているようです。

◎クラブアッセンブリー開催について 宮川副会長

- ・来る1月15日(水) 午後6時より ニュー三幸 3階 白樺の間にて開催致しますので各委員会委員長さんには万障お繰り合わせのうえ是非ご出席下さい 委員長欠席の場合は必ず副委員長さん  
がご出席ください。

◎奥沢村会開催について 大倉会員

- ・2月8日(土)「宏楽園」午後6時より 開催致します。
- ・詳細につきましては、各村会員の皆様のメールボックスに入れておきます。

◎SAA 安倍委員長

- ・1月からの「席順」は、昨年 7月から9月までの3ヶ月間 ホームでの出席率が良い会員から 割り当てをさせていただきました。よろしくお願ひいたします。

◎小樽市民国際交流会議 松浦会員

- ・「築こう 世界相互理解、進めよう 積極的国際交流を」メインテーマにしたポスターのゲラ刷りも出来上がりました。来週中にもマスコミ関係へ発表させていただきます 今後共よろしくご協力、ご尽力のほどお願いいたします。

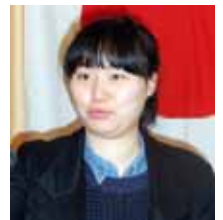
◎吹越会長

- ・年末家族懇親会アトラクション「東京音頭」で踊っていただいた笑福ひよっとこ踊り 代表 佐藤トモ子さんから礼状が届いております。
- ・安孫子ガバナーから年賀状が届いております。

■奨学金の授与 ■ 吹越会長より

イ・アルム さん

会員みな様 明けましておめでとうござい  
ます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。  
(日本のお正月と韓国のお正月の相異を語っ  
ていただきましたが、誌面の都合上割愛させ  
ていただきます。是非またの機会にお願ひい  
たします。)



■会員誕生祝 ■ 1月生まれの会員

- 1日 山村会員 2日 福島会員 4日 廣瀬会員 8日 荒内会員・佐藤(基)会員 13日 齊藤会員 19日 宮川会員 24日 浅村会員 28日 岩船会員



山田 幸雄 会員  
 (昭和五年七月二十日庚午)



明けましておめでとうでございます。今年が世界の人人にとつて幸せな良き年でありますように、心からお祈り申し上げます。

私は、昭和五年生まれの午年年男ということでの嫌なスピーチがあたつてしまいました。まあ馬の耳に風、馬耳東風とも思つてしばらくの間ご辛抱下さい。馬に因んだ諺は数多くありますが「人間万事塞翁が馬」という諺があります。御存知の方も多いと思いますが、これは中国の古書「淮南子」に出てくる諺です。昔、中国北方の塞(とりで)近くに住む古い巧みな老人(塞翁)の馬が、胡の地方に逃げ、人々が気の毒がると、老人は「そのうちに福が来る」と言つた。やがて、その馬は胡の駿馬を連れて戻つてきた。人々が祝うと、今度は「これは不幸の元になるだろう」と言つた。すると胡の馬に乗つた老人の息子は、落馬して足の骨を折つてしまった。人々がそれを見舞うと、老人は「これが幸福の基になるだろう」と言つた。一年後、胡軍が攻め込んできて戦争となり若者達はほとんど戦死した。しかし足を折つた老人の息子は、兵役を免れたため、戦死しなくて済んだという故事に基づく。

人生における不幸は予測しがたいということ。幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるかわからないのだから、安易に喜んだり悲しんだりするべきではないと言つて例えだそう。長引く不況により多くの人が今苦しんでいますが、この不況による苦しみも、いずれ必ず来る幸せの前兆なのだと思つて、今年も皆さんと共に頑張つていきたいと思つております。最後になりましたが、石川啄木の歌をご紹介して新年の例会スピーチを終わりたいと思つております。

何となく、今年はいい事あることし  
 元旦の朝晴れて風無し  
 ご静聴有難うございました。どうぞ今年も宜しくお願ひ申し上げます。

# 卓話年男

●例会プログラム



北野 明宣 会員  
 (昭和十七年四月十三日壬午)

今年はずの午年にあたります。安倍晋三首相、高橋北海道知事が「午」です。天高く午肥ゆる北海道は道産子サラブレッド、さらに天翔る馬ベガサスがあり、ベガサスのように今年も世に羽ばたける年になれば良いと祈願しています。昨年はアベノミクスに明け暮れた一年でありました。一の矢、二の矢は放たれましたが第三の矢が未だ放たれておりません。各界団体等の新年会における安倍首相の年頭挨拶に、賃上げが経済成長を促す力になると言つて各企業に賃上げを求める言動があり、業績の良い自動車産業や大手の企業では賛同するコメントを発表しております。一方、中小企業の経営者団体ではこの首相の発言に難色を示しておりアベノミクスによって潤っている企業とそうではない企業との温度差がかなり大きくなっていることが感じられます。北海道においては、かがでしようか。税込自給率三十三パーセントの北海道においては中央大都市圏における経済活性をそのまま受け入れることが果たして正解なのか、特に小樽市においては?マークがつきます。

(誌面の都合上中略させていただきます)

小樽市では出生率が年八〇〇人程度に減少し、死亡、転出者数の増加により年々減少がおきています。人口が今年で十二万人を切ろうとしており、二〇二五年では八万人前後になると言われていますが、本年度末に小樽市立病院が診療を開始、南小樽を中心に、済生会小樽病院・小樽協会病院・エキサイ会病院の四つの総合病院が集合することになります。しかし、医師不足や看護師等の医療従事者の不足等他諸般種々多々の問題があり、基幹病院に連携する医療施設による地域医療構築が崩れ再編成等の問題も生じかねません。医療集約化は地域住民にとって果たして幸せをもたらすのかどうか疑問に思わざるを得ません。(中略)

人口二十万弱の後志地域の基幹都市小樽への経済医療集中のため、もう一つ市の中心部近い所に高速札幌自動車道フルインターチェンジを設ける必要があると考え、小樽市医師会や経済界は共同して国に陳情しております。人を含めた物流経済は道路に依存することが多く、その経済への影響は大きく、小樽を過疎化させないために更なる努力が必要と考えられます。



■出席委員会

●平成26年1月10日

会員総数 69名 本日の欠席者 13名  
 阿部、荒田、荒木、石上、角野、湊、永原、高木(成)、坪井前川、山吹、富永、山田(正)

●平成25年12月27日

会員総数 69名 出席摘要免除者数 17名  
 病欠者 0名 出席計算員数 0名

ホーム欠席者数 0名 メーキャップ数 0名  
 純欠席者数 0名 休会  
 12月出席率 86.86%

■メーキャップ

12/20 福島(小樽RC)  
 1/10 阿部、山吹(小樽RC)、山田(正)(釧路RC)

■メーキャップ受付 平成26年1月3日(金)

泉 侑氏、吉村 克之氏、小野 英樹氏(小樽RC)

●記事担当/東会員